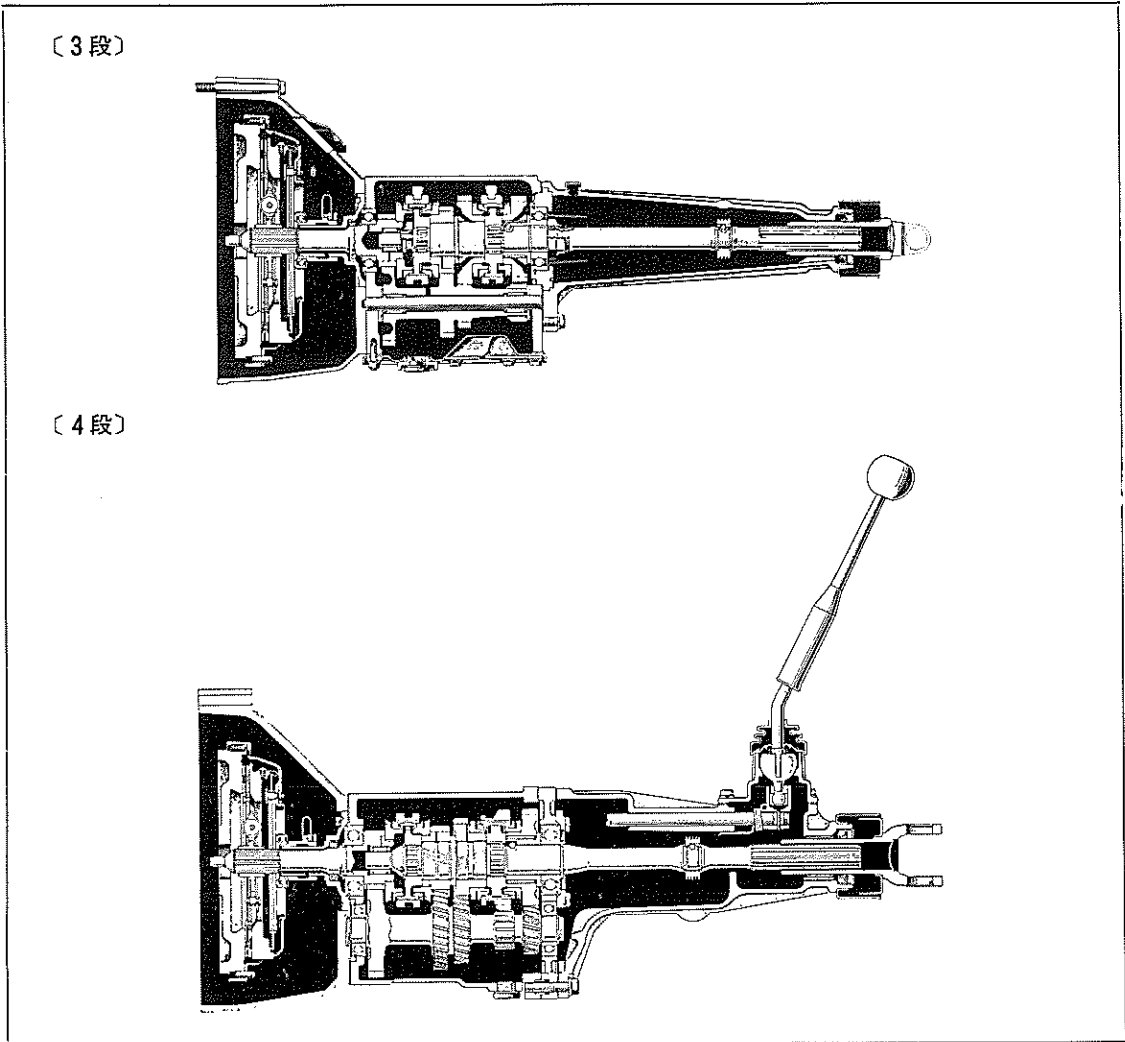


トランスミッション

概 説	9-2
取りはずし	9-3
3段トランスミッション	9-5
コントロール シャフト.....	9-8
4段トランスミッション	9-9
取り付け	9-26

概 説



第9-1図 3段, 4段トランスミッション断面図

S0641 S0511

仕 様

第9-1表 マニュアル トランスミッション仕様

車 両 型 式		RX16V-Y系	RX-Y系	RX, MX-K系
型 式	前 進	1, 2, 3 速	1, 2, 3 速	1, 2, 3, 4 速
	後 退	オール シンクロメツシュ 常時かみ合い式	オール シンクロメツシュ 常時かみ合い式	オール シンクロメツシュ 選択しゆう動式
変 速 比	1 速	3.647	3.337	3.579
	2 速	1.807	1.653	2.081
	3 速	1.000	1.000	1.397
	4 速	—	—	1.000
	後 退	4.863	4.449	4.399
操 作 方 式		リモート コントロール		フロア シフト

取りはずし

- 1 バッテリの⊕端子配線を切り離す。
- 2 冷却水を抜き、ラジエータホース（アツパ側）をラジエータから切り離す。

注

- 1 冷却水はロングライフクーラントを使用しているものは保管する。
- 2 冷却水はラジエータのアツパタンク分のみ抜けばよい。

- 3 MX系車はファンシユラウドアツパを取りはずす。
- 4 18R-Bエンジンとう載車はエアクリーナケースを取りはずす。
- 5 アクセルレータトルクロッド(1)をトルクロッドブラケット(2)およびコネクティングロッド(3)から切り離す。(第9-2図)
- 6 RX系車はクラッチフレキシブルホースブラケットの取り付けボルトを取りはずす。
- 7 スタータ取り付けボルトまたはナツのアツパ側を取りはずす。
- 8 バックアツプランプワイヤを切り離す。
- 9 4段トランスミッションは室内からシフトレバーを取りはずす。
 - (1) コンソールボックスを取りはずす。
 - (2) シフトレバーブーツを取りはずす。
 - (3) シフトレバーとシフトレバーリテーナとの取り付けスクリュ4本を取り、シフトレバーを取りはずす。
- 10 車両前後をジャッキアツプスタンドでささえる。
- 11 スタータの取り付けボルトまたはナツを取り、スタータを前方に引き出しておく。
- 12 クラッチリリースシリンダを取りはずす。
 - (1) テンションスプリング(4)を取りはずす。
 - (2) プツシュロッドのロックナツ(5)をゆるめ、ロッドNo.2(6)をねじ込む。
 - (3) ナツ(7)を取り、シリンダを取りはずす。

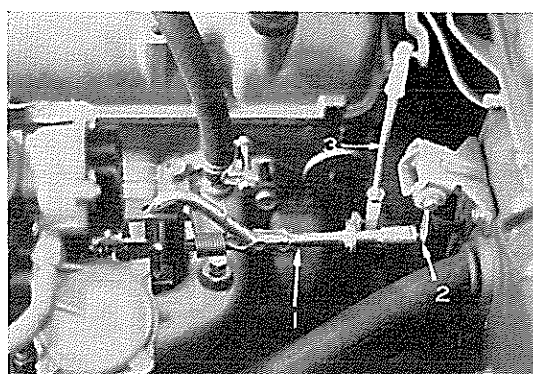
注

チューブをリリースシリンダから取りはずす必要はない。

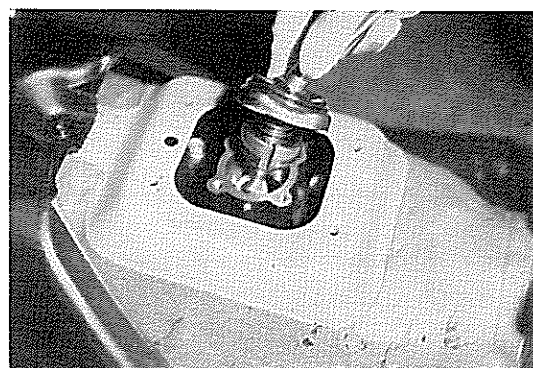
- 13 エキゾーストパイプ(8)をフランジ部(9)から切り離し、クランプ(10)を取りはずす。

注

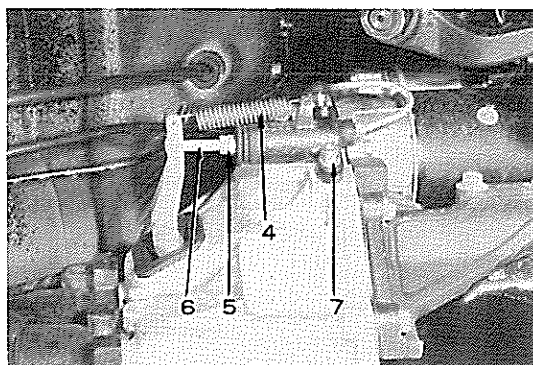
MX系車はクランプブラケット付きで取りはずす。



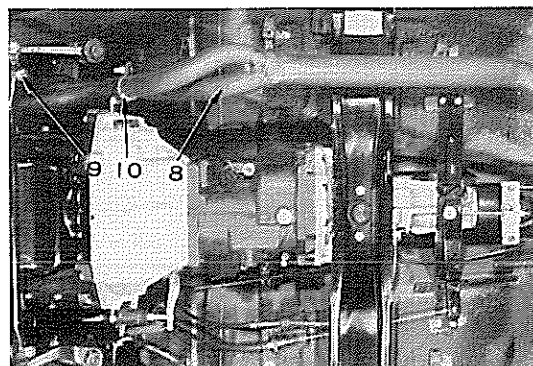
第9-2図 アクセルレータトルクロッド
取りはずし B9873



第9-3図 シフトレバー取りはずし(4段) B9916

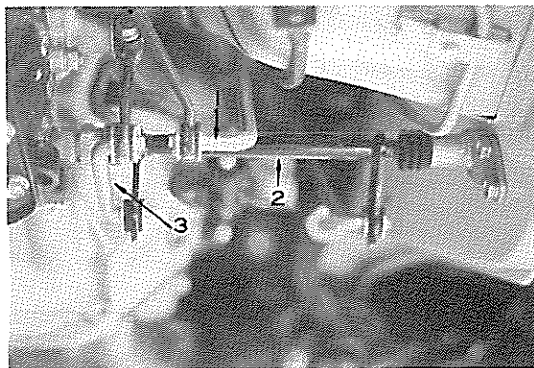


第9-4図 クラッチリリースシリンダ
取りはずし B9917



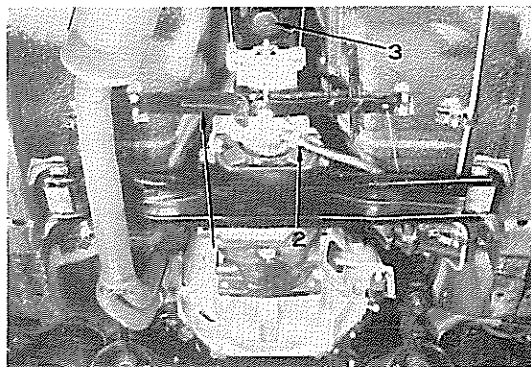
第9-5図 エキゾーストパイプ取りはずし B9918

- 14 MX系車はフライホイールハウジングアンダカバーおよびスチフナプレートを取りはずす。
- 15 3段トランスミッションはロースピードコネクティングロッド(1)、クロスシャフト(2)およびギヤシフトロッド(3)を取りはずす。



第9-6図 コントロールリンク関係取りはずし B9919

- 16 パーキングブレーキイコライザサポートブラケット(1)を取りはずす。
- 17 スピードメータケーブル(2)を取りはずす。
- 18 プロペラシャフト(3)を取りはずす。

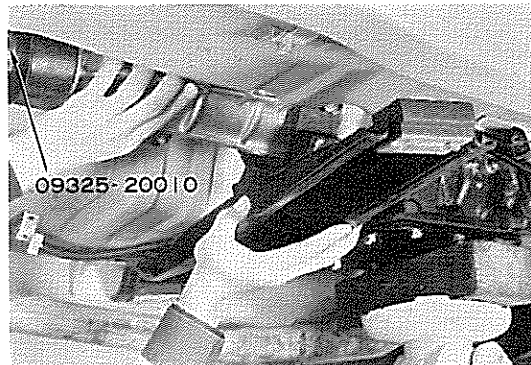


第9-7図 下回り取りはずし B9920

注
トランスミッションからオイルの流出を防ぐため、SST〔09325-20010〕をエクステンションハウジングにそう入しておく。

- 19 トランスミッションをジャッキでささえ、エンジンリヤサポートメンバを取りはずす。

注
ジャッキに当て木をすること。

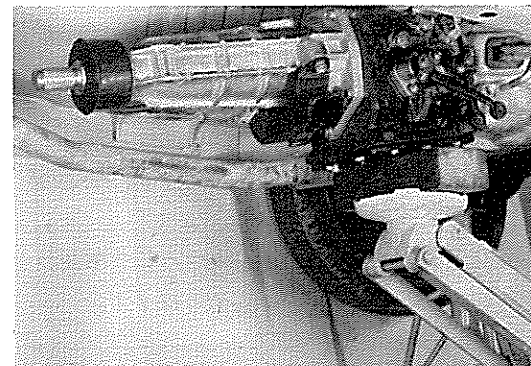


第9-8図 サポートメンバ取りはずし B9923

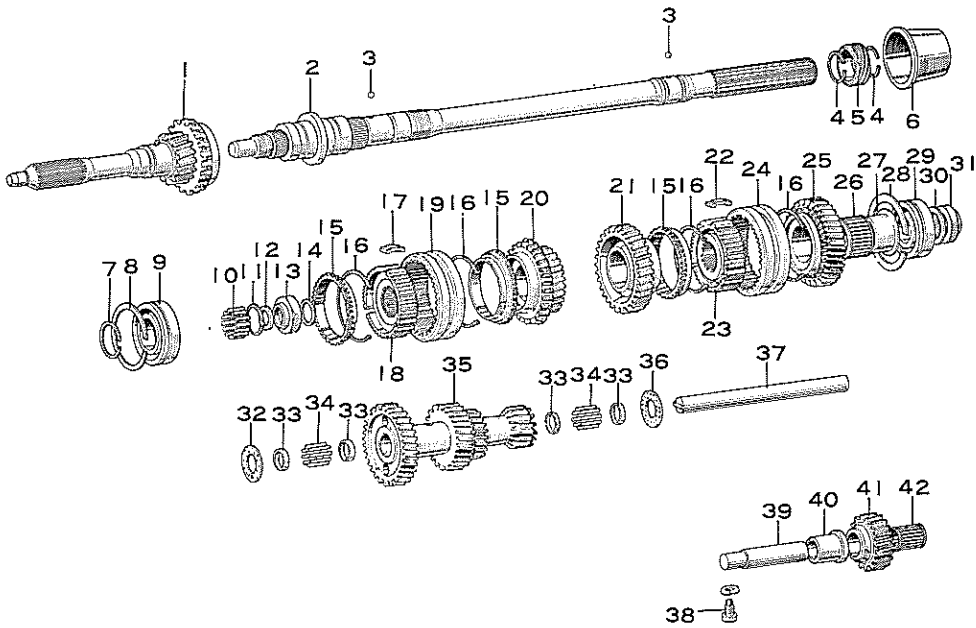
- 20 ジャッキを降ろし、クラッチハウジングの取り付けボルトを取りはずす。

注
1 MX系車はジャッキに当て木をしてエンジン前部(オイルパン)をジャッキアツプする。
2 シリンダヘッドカバー後部にウェスを当ててカウルを保護すること。

- 21 トランスミッションを取りはずす。



第9-9図 トランスミッション取りはずし B9921



- | | | | |
|----|------------------------------------|----|----------------------------|
| 1 | シャフト サブ アッセンブリ, インプット | 22 | キー, シンクロメツシュ シフトイソグ, No.1 |
| 2 | シャフト, アウトプツ | 23 | ハブ, トランスミツシヨソ クラツチ, No.1 |
| 3 | ボール, リバース シフト レストリクト | 24 | スリーブ, トランスミツシヨソ ハブ, No.1 |
| 4 | リング, シャフト スナツプ | 25 | ギヤ サブ アッセンブリ, リバース |
| 5 | ギヤ, スビドメータ ドライブ | 26 | ベアリング, ニードル ローラ |
| 6 | デフレクタ, エクステンシヨソ ハウソグ | 27 | ブシユ, リバース ギヤ |
| 7 | リング, シャフト スナツプ | 28 | リング, シャフト スナツプ |
| 8 | リング, シャフト スナツプ | 29 | ベアリング |
| 9 | ベアリング, ラジアル ボール | 30 | シム |
| 10 | ローラ | 31 | ナツト |
| 11 | リング, ホール スナツプ | 32 | ワツシヤ, カウンタ ギヤ ケース サイド スラスト |
| 12 | スベーサ | 33 | スベーサ |
| 13 | ナツト | 34 | ローラ |
| 14 | シム | 35 | ギヤ, カウンタ |
| 15 | リング, シンクロナイザ, No.2 | 36 | ワツシヤ, カウンタ ギヤ サイド スラスト |
| 16 | スプリソグ, シンクロメツシュ シフトイソグ
キー, No.1 | 37 | カウンタシャフト |
| 17 | キー, シンクロメツシュ シフトイソグ, No.2 | 38 | ボルト, シャフト リテーソグ |
| 18 | ハブ, トランスミツシヨソ クラツチ, No.2 | 39 | シャフト, リバース アイドラ ギヤ |
| 19 | スリーブ, トランスミツシヨソ ハブ, No.2 | 40 | ワツシヤ, リバース アイドラ スラスト |
| 20 | ギヤ サブ アッセンブリ, セカソド | 41 | ギヤ, リバース アイドラ |
| 21 | ギヤ サブ アッセンブリ, ファースト | 42 | ベアリング, ニードル ローラ |

第9-11図 3段トランスミツシヨソ 構成部品(2)

S1256

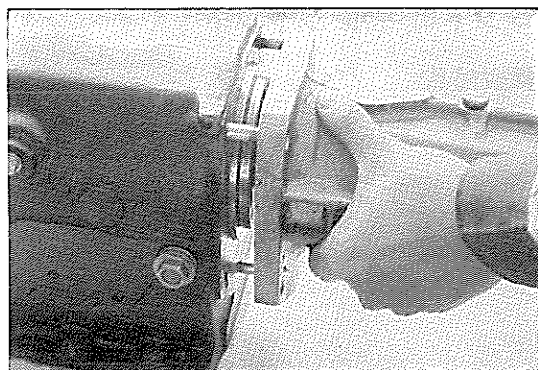
分 解

- 1 クラッチハウジングをトランスミッションケースから取りはずす。

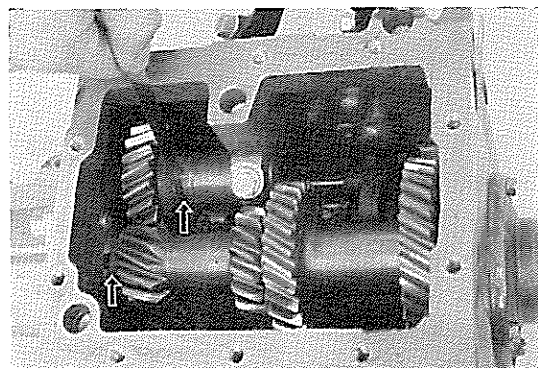
注

クラッチリリースフォーク、リリースベアリングおよびリリースハブ付きで取りはずす。

- 2 フロントベアリングリテーナを取りはずす。
- 3 トランスミッションオイルパンを取りはずす。
- 4 スピードメータドリブンギヤを取りはずす。
- 5 エクステンションハウジングを取りはずす。



第9-12図 エクステンションハウジング
取りはずし B8719



第9-13図 スラストすき間測定 B8720

- 6 カウンタギヤを取りはずす。
SST〔09311-20011〕を使用して、カウンタギヤを取りはずす。

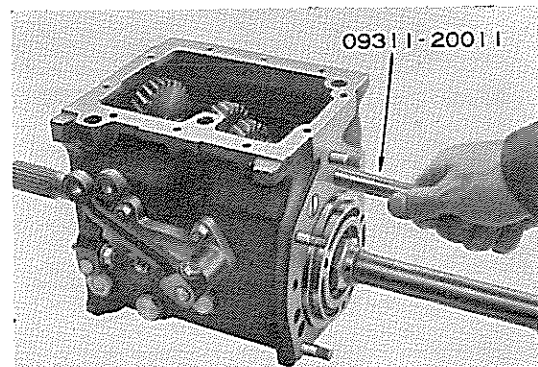
注

カウンタギヤ、リバースアイドルギヤのスラストすき間を測定し、組み付け時の参考値とする。

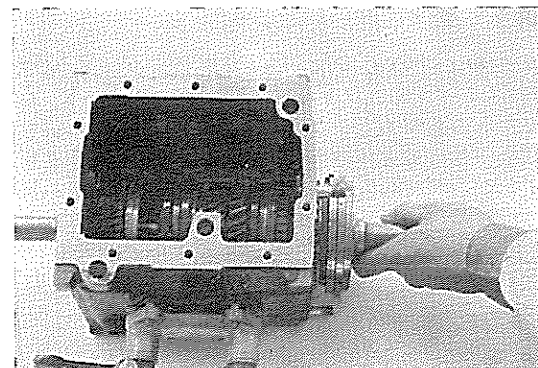
- 7 リバースアイドルギヤを取りはずす。
- 8 シフトフォークを取りはずす。
- 9 アウトプットシャフトを取りはずす。
- 10 インプットシャフトを取りはずす。
- 11 アウトプットシャフトリヤベアリングリテーナを取りはずす。

点検、組み付け

各車共通編 第9章「トランスミッション」の項参照。



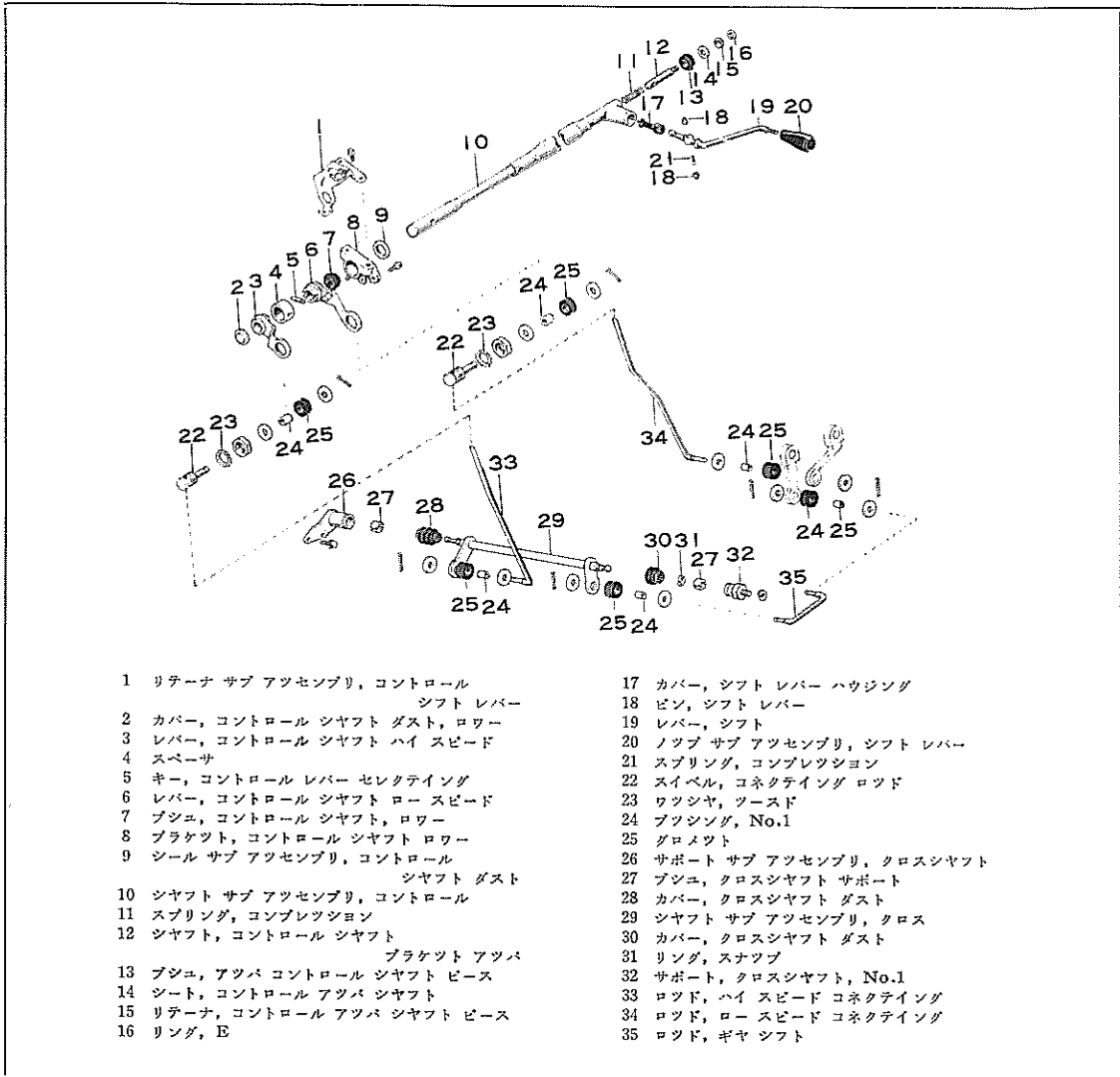
第9-14図 カウンタギヤ取りはずし B8721



第9-15図 アウトプットシャフト取りはずし B8722

コントロール シャフト

構成部品



第9-16図 コントロール シャフト構成部品

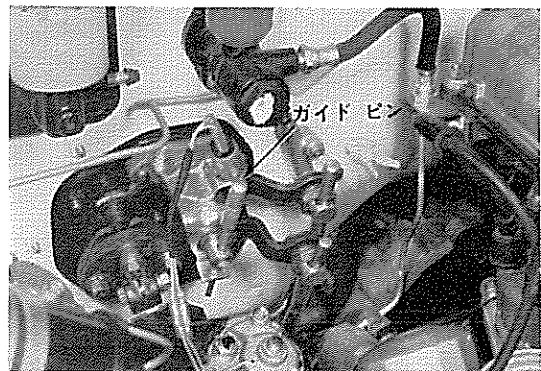
S1257

調 整

ローおよびハイ スピード コネクティング ロッド スイベル用ナツトをゆるめ、コントロール シャフトの調整穴とシフト レバー リテーナの調整穴を一致させガイド ピンをそう入し、コネクティング ロッドを調整してスイベル 用ナツトを締め付ける。

注

- 1 ガイド ピンは6φの丸棒を使用する。
- 2 シフト レバー を操作して、上下方向に引っ掛かりがなく、ギヤの切り替えが確実に行なわれることを確認すること。

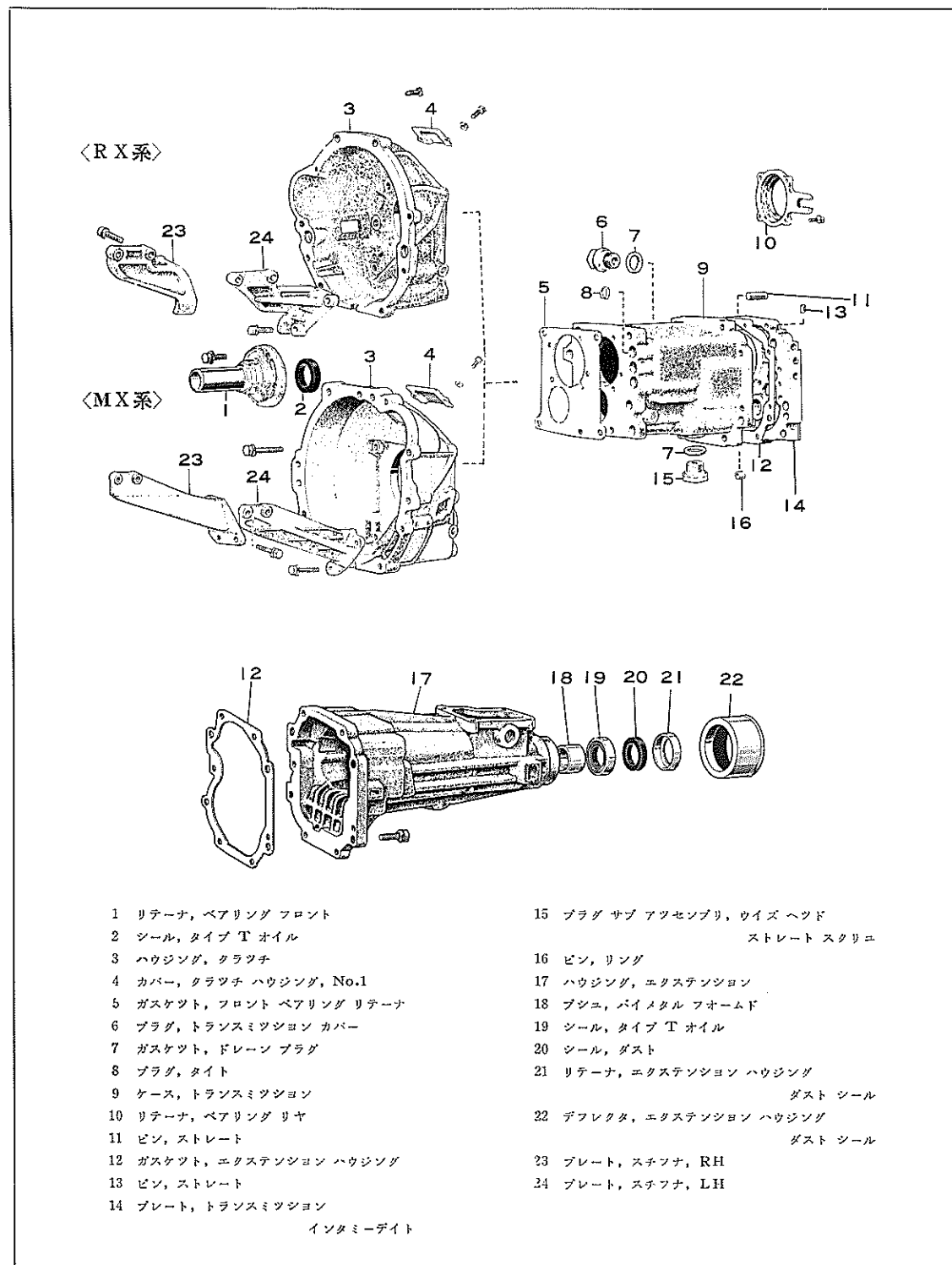


第9-17図 コネクティング ロッド調整

C0342

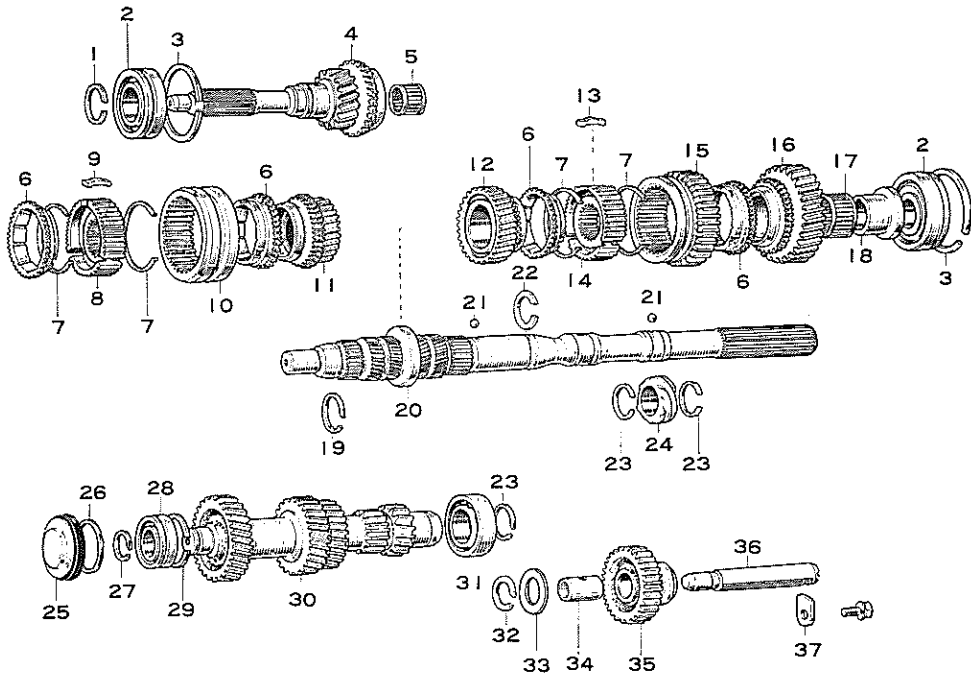
4段トランスミッション

構成部品



第9-18図 4段トランスミッション構成部品(1)

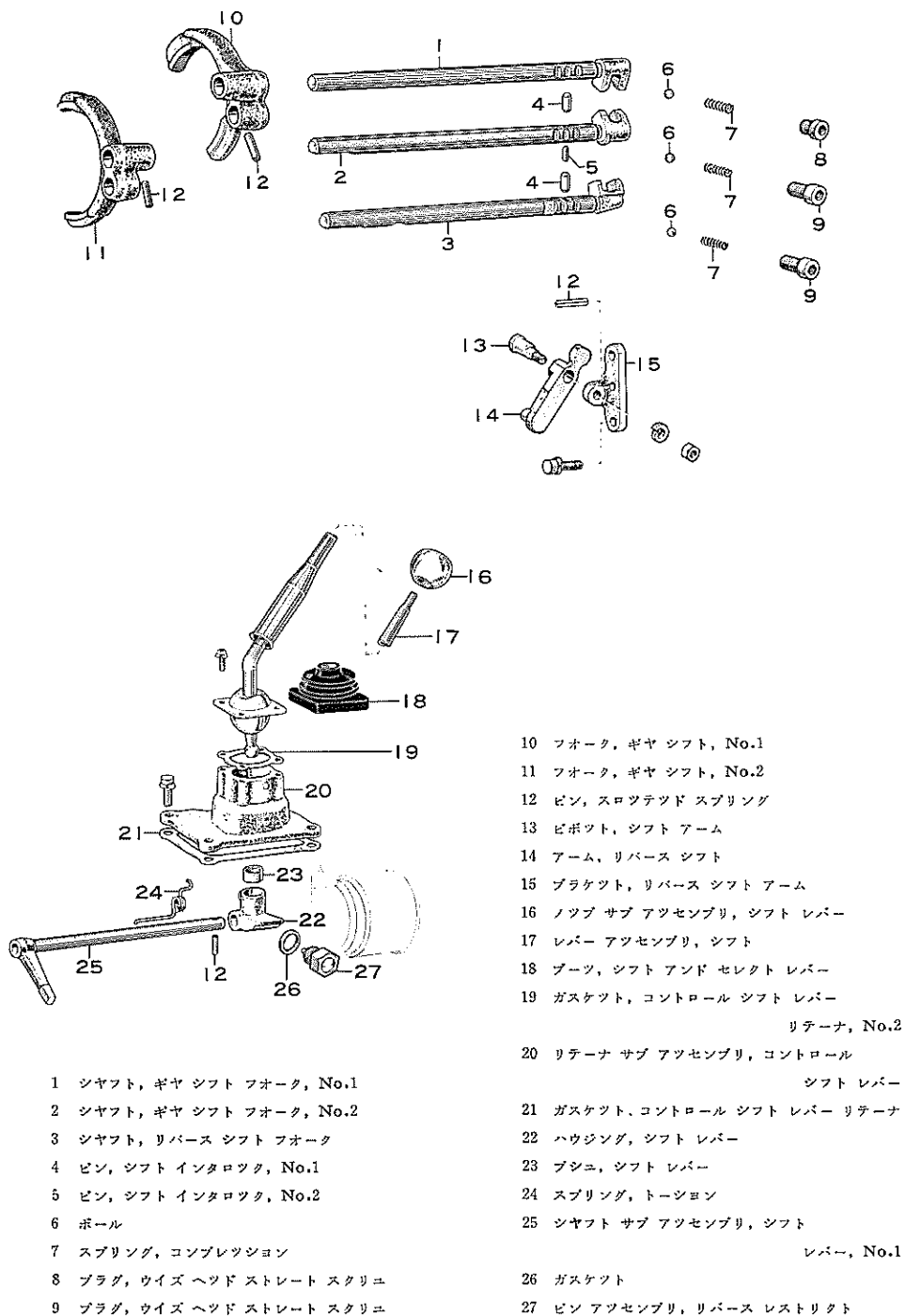
S1258 S0513



- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 1 リング, シヤフト スナツブ | 20 シヤフト, アウトプツト |
| 2 ベアリング, ラジアル ボール | 21 ボール, リバース シフト レストリクト |
| 3 リング, シヤフト スナツブ | 22 リング, シヤフト スナツブ |
| 4 シヤフト サブ アツセンブリ, インプツト | 23 リング, シヤフト スナツブ |
| 5 ベアリング, ニードル ローラ | 24 ギヤ, スピードメータ ドライブ |
| 6 リング, シンクロナイザ, No.2 | 25 カバ- サブ アツセンブリ, カウンタシヤフト |
| 7 スプリング, シンクロメツシュ シフティング キー | 26 スペ-サ |
| 8 ハブ, トランスミツション クラツチ, No.2 | 27 リング, シヤフト スナツブ |
| 9 キー, シンクロメツシュ シフティング, No.2 | 28 ベアリング, ラジアル ボール |
| 10 スリーブ, トランスミツション ハブ, No.2 | 29 リング, シヤフト スナツブ |
| 11 ギヤ サブ アツセンブリ, サード | 30 ギヤ, カウンタ |
| 12 ギヤ サブ アツセンブリ, セカンド | 31 ベアリング, ラジアル ボール |
| 13 キー, シンクロメツシュ シフティング, No.1 | 32 リング, シヤフト スナツブ |
| 14 ハブ, トランスミツション クラツチ, No.1 | 33 スペ-サ |
| 15 ギヤ, リバース | 34 プシュ, バイメタル フォームド |
| 16 ギヤ サブ アツセンブリ, ファースト | 35 ギヤ, リバース アイドラ |
| 17 ベアリング, ニードル ローラ | 36 シヤフト, リバース アイドラ |
| 18 レ-ス, ファースト ギヤ ベアリング インナ | 37 スツバ, リバース アイドラ ギヤ シヤフト |
| 19 リング, シヤフト スナツブ | |

第9-19図 4段トランスミツション構成部品(2)

S0696



- 1 シャフト, ギヤ シフト フォーク, No.1
- 2 シャフト, ギヤ シフト フォーク, No.2
- 3 シャフト, リバース シフト フォーク
- 4 ピン, シフト インタロック, No.1
- 5 ピン, シフト インタロック, No.2
- 6 ボール
- 7 スプリング, コンプレッション
- 8 プラグ, ウィズ ヘッド ストレート スクリュー
- 9 プラグ, ウィズ ヘッド ストレート スクリュー

- 10 フォーク, ギヤ シフト, No.1
- 11 フォーク, ギヤ シフト, No.2
- 12 ピン, スロットッド スプリング
- 13 ピボット, シフト アーム
- 14 アーム, リバース シフト
- 15 ブラケット, リバース シフト アーム
- 16 ノツブ サブ アッセンブリ, シフト レバー
- 17 レバー アッセンブリ, シフト
- 18 ブーツ, シフト アンド セレクト レバー
- 19 ガasket, コントロール シフト レバー
リテーナ, No.2
- 20 リテーナ サブ アッセンブリ, コントロール
シフト レバー
- 21 ガasket, コントロール シフト レバー リテーナ
- 22 ハウジング, シフト レバー
- 23 ブッシュ, シフト レバー
- 24 スプリング, トー ション
- 25 シャフト サブ アッセンブリ, シフト
レバー, No.1
- 26 ガasket
- 27 ピン アッセンブリ, リバース レストリクター

第9-20図 4段トランスミッション構成部品(3)

S0697 S0515

分 解

- 1 クラッチ ハウジングをトランスミッション ケースから取りはずす。

注

クラッチ レリーズ フォーク, レリーズ ベアリングおよびレリーズ ハブ付きで取りはずす。

- 2 エクステンション ハウジングを取りはずす。

- (1) バック アップ ランプ スイッチ, リバース レストリクト ピンおよびスピードメータ ドリブン ギヤを取りはずす。
- (2) コントロール シフト レバー リテーナを取りはずす。
- (3) エクステンション ハウジングを取りはずす。

注

シフト レバー ハウジングをリヤ側からみて反時計方向に回し、シフト アンド セレクト レバーとフォーク シャフトのかん合を解いて、エクステンション ハウジングを取りはずす。

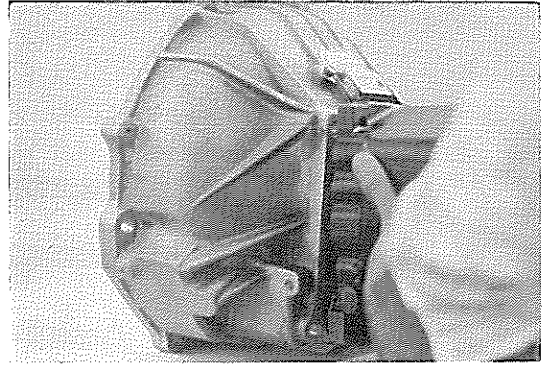
- (4) スロットテッド ピンを取り、シフト レバー シャフト No. 1, シフト レバー ハウジングおよびスプリングを取りはずす。

- 3 トランスミッション ケースを取りはずす。

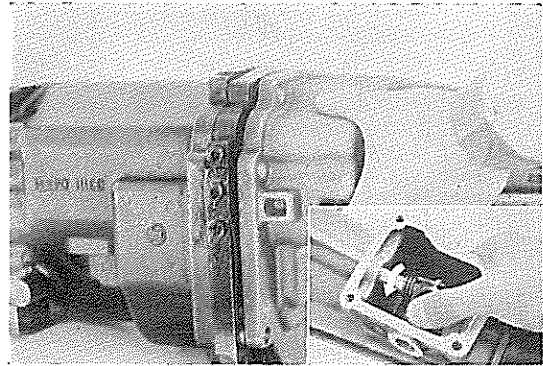
- (1) フロント ベアリング リテーナ, カウンタシャフト カバーおよびスペーサを取り、SST [09905-00010] を使用してスナップ リングをインプット シャフト ベアリングおよびカウンタ ベアリングから取りはずす。

注

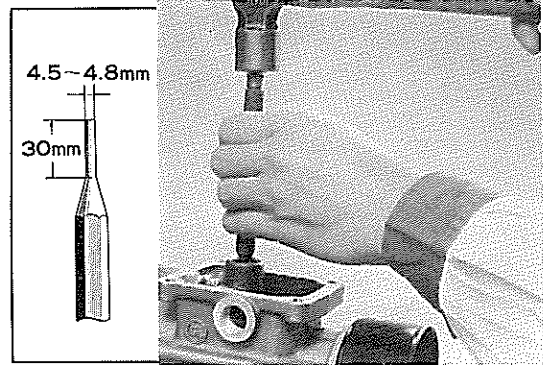
カウンタシャフト カバーを取るときはカウンタ リヤ側からフロント側へ少し押すとよい。



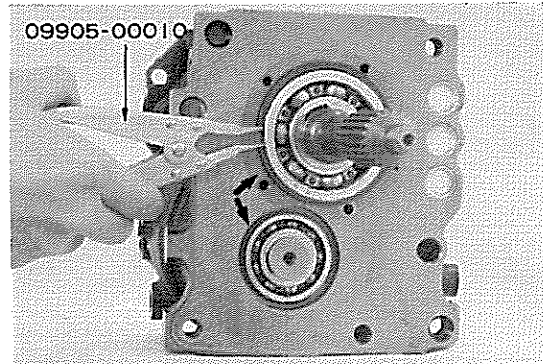
第9-21図 クラッチ ハウジング取りはずし B8508



第9-22図 エクステンション ハウジング取りはずし B8509 B8452



第9-23図 スロットテッド ピン打ち抜き B8451 G0642



第9-24図 トランスミッション ケース取りはずし B8453

- (2) トランスミッション ケースをインタミ
ーデイト プレートから切り離して前方
へ抜き出す。

注

インプット シャフト, アウトプット シャフト, カ
ウンタ ギヤ等がすべてインタミデイト プレート
に組み付いた状態で取りはずせる。

- 4 インタミデイト プレートをバイスに固定
する。

注

インタミデイト プレートをバイスに固定する
ときは, 銅板または右図の斜線部分をはさみ, 合わせ
面に傷の付かないようにする。

- 5 スピードメータ ドライブ ギヤを取りはず
す。

注

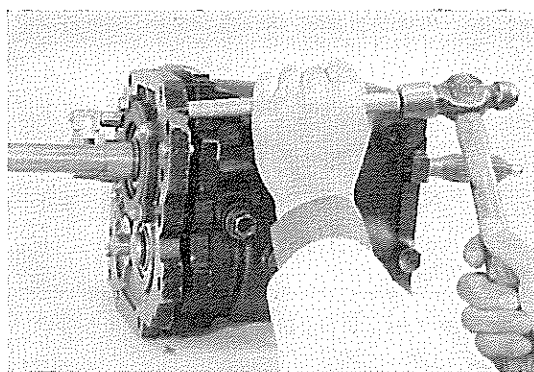
ボールを紛失しないこと。

- 6 リバース アイドラ ギヤを取りはずす。

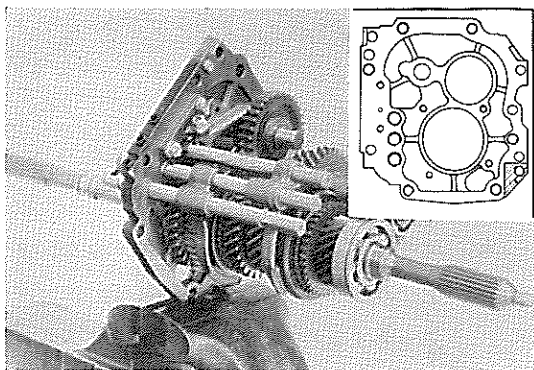
- (1) スロットッド スプリング ピンを打ち抜
き, シフト アーム ブラケット取り付け
ボルトを取り, シフト アーム付きでシ
フト アーム ブラケットを取りはずす。
(2) リバース アイドラ シャフト ストツパ
を取り, アイドラ ギヤ, アイドラ シャ
フトをフロント側へ取りはずす。

- 7 シフト フォークを取りはずす。

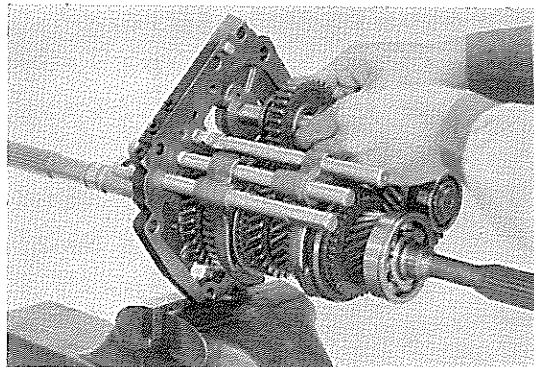
- (1) アウトプット リヤ ベアリング リテー
ナを取りはずす。
(2) SST (09313-30020) を使用してストレ
ート スクリュ プラグを取り, スプリング
を取りはずす。



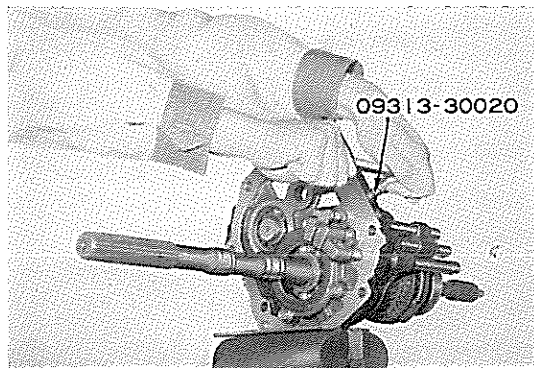
第9-25図 トランスミッション ケース取りはずし B8454



第9-26図 インタミデイト プレート B8455 G7900
取り付け



第9-27図 リバース アイドラ ギヤ取りはずし B8456



第9-28図 シフト フォーク取りはずし B9012

- (3) スロットテッド スプリング ピンを各シフト フォークから打ち抜く。
- (4) リバース シフト フォーク シャフト, ギヤ シフト フォーク シャフト No.2, No.1の順に後方に抜き, シフト フォークを取りはずす。

注

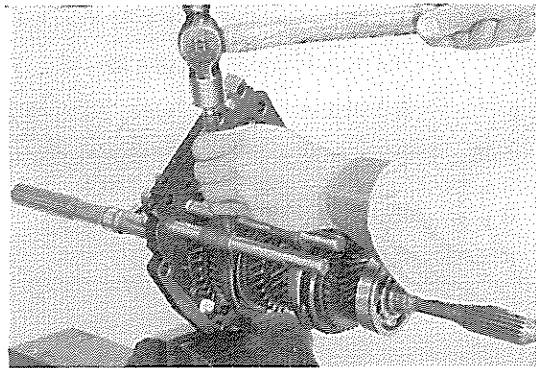
インタロック ピンおよびボール3個を紛失しないこと。

- 8 インプット シャフト, アウトプット シャフトおよびカウンタ ギヤをインタミードイトプレートから取りはずす。

- (1) スナツプ リングをアウトプット リヤ ベアリングから取りはずす。
- (2) アウトプット シャフトおよびカウンタ ギヤのリヤ側から同時に押して, インタミードイト プレートから取りはずす。

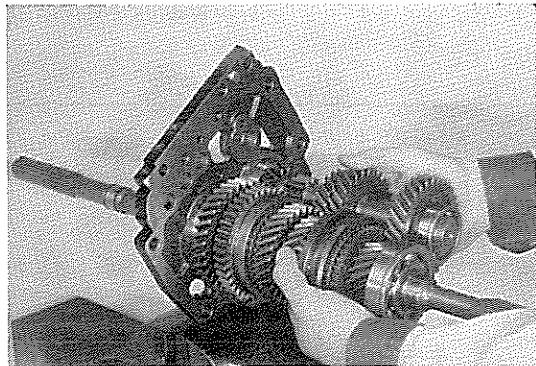
- 9 アウトプット シャフトを分解する。

- (1) インプット シャフトおよびシンクロナイザ リングをアウトプット シャフトから取りはずす。
- (2) SST [09905-00010] を使用してスナツプ リングを取り, クラッチ ハブ No. 2, シンクロナイザ リングおよびサード ギヤを取りはずす。
- (3) アウトプット リヤ ベアリング固定用スナツプ リングを取り, プレス を使用してベアリングを取りはずす。



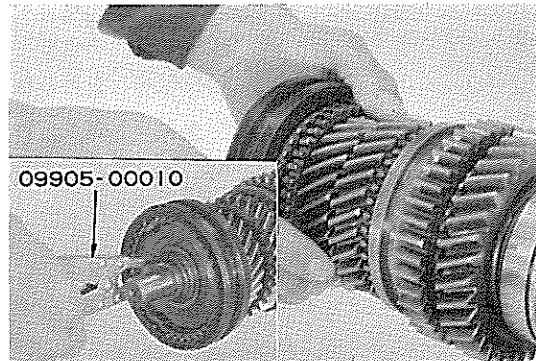
第9-29図 シフト フォーク取りはずし

B8458



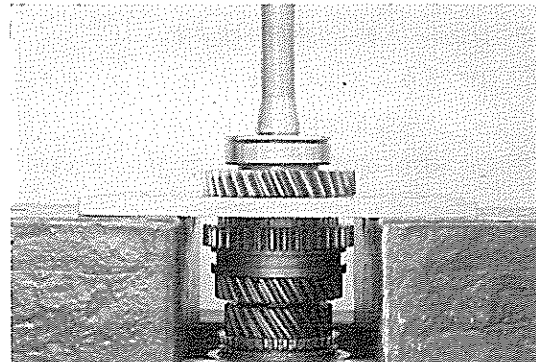
第9-30図 アウトプット シャフトおよび
カウンタ ギヤ取りはずし

B8459



第9-31図 サード ギヤ取りはずし

B8460 B8461



第9-32図 アウトプット リヤ ベアリング
取りはずし

B8462

- (4) ファースト ギヤ, ニードル ローラ ベアリング, ベアリング インナ レースおよびシンクロナイザ リングを取りはずす。

注

ボール(ベアリング インナ レース ロック用)を紛失しないこと。

- (5) リバース ギヤおよびクラッチ ハブ No. 1 を取りはずす。
 (6) セカンド ギヤおよびシンクロナイザ リングを取りはずす。

点 検

分解した各部品は洗浄した後, 次の項目について点検し, 不具合が認められた場合は交換する。
 アウトプット シャフト, ベアリング インナ レース

- 1 シャフトの振れをリヤ ベアリング 取り付け部の円周上で測定する。

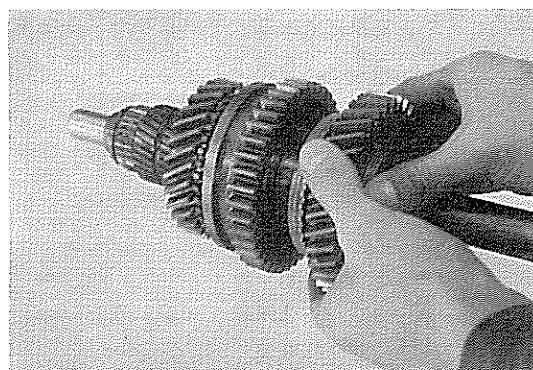
振れ限度 0.03 mm

- 2 シャフトのギヤおよびベアリングかん合部の損傷, 摩耗
 3 シャフトのフランジ部およびベアリング インナ レースの損傷, 摩耗

フランジの厚さ摩耗限度(シャフト) (A)
 4.50 mm

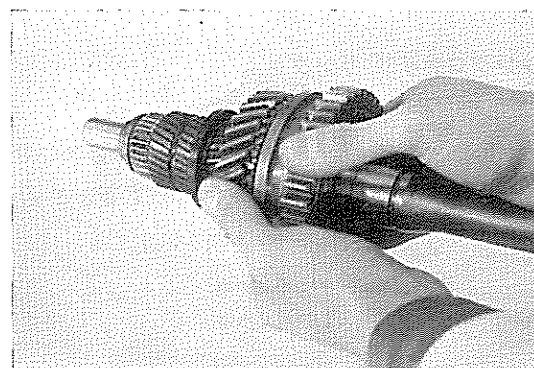
フランジの厚さ摩耗限度(インナ レース) (B)
 4.55 mm

ブッシュ部外径摩耗限度(シャフト) (C)
 40.8 mm



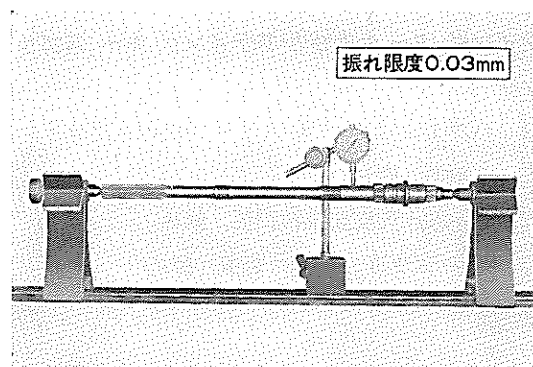
第9-33図 ファースト ギヤ取りはずし

B8463



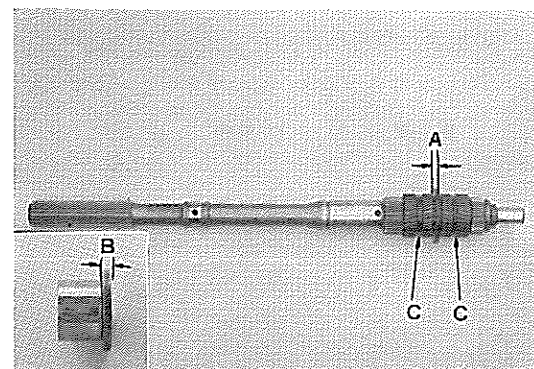
第9-34図 リバースおよびセカンド ギヤ取りはずし

B8464



第9-35図 アウトプット シャフト振れ点検

V0322



第9-36図 アウトプット シャフト点検

B8731 B8857

ファースト、セカンド、サード、リバース各ギヤ

- 1 各ギヤの歯面，スラスト面，内径面およびコーン部の損傷，摩耗
- 2 アウトプット リヤ ベアリングおよびニードル ローラ ベアリングの損傷，摩耗

油すき間

ファースト ギヤ	限度	0.06 mm
	基準値	0.019~0.051 mm
セカンド，サード ギヤ	限度	0.10 mm
	基準値	0.06~0.10 mm

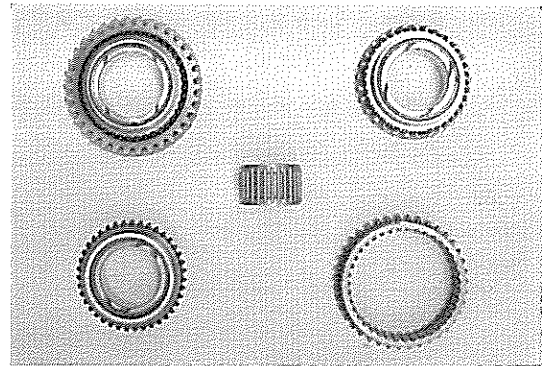
シンクロナイザ リング

- 1 ブレーキ作用
- 2 シンクロナイザ リングをギヤにはめ合わせたときのシンクロナイザ リング背面とギヤ スプライン端面とのすき間を測定する。

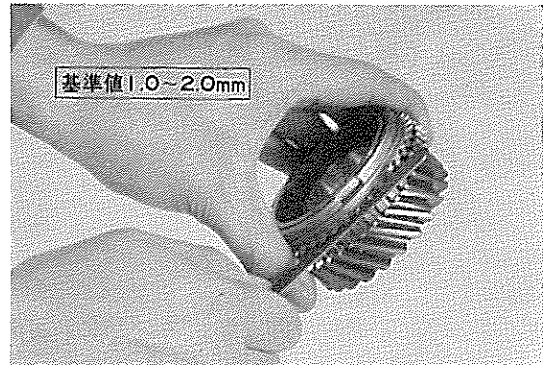
限度	0.8 mm
基準値	1.0~2.0 mm

クラッチ ハブ スリーブ，クラッチ ハブ，シフ
テイング キー およびシフテイング キー スプリ
ング

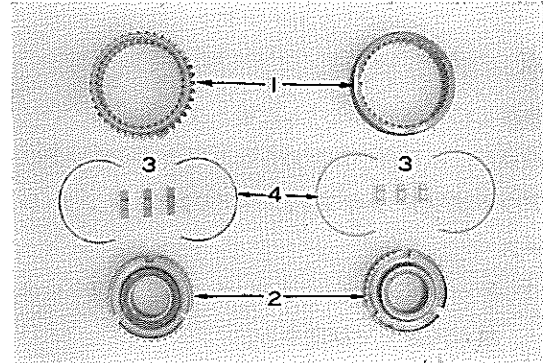
- 1 ハブ(1)およびハブ スリーブ(2)のスプラインの損傷，摩耗
- 2 キー(3)中央突起部の損傷，摩耗
- 3 キー スプリング(4)の衰損，摩耗



第9-37図 ギヤ，ニードル ローラ ベアリング 点検 B8465



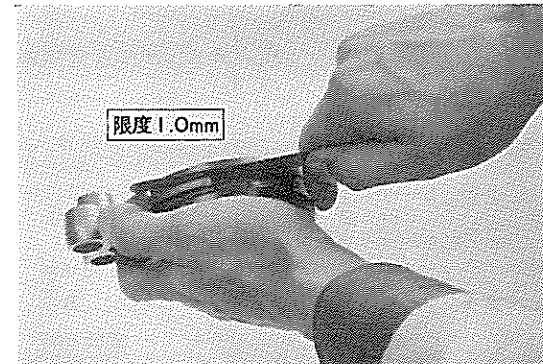
第9-38図 シンクロナイザ リング点検 B8466



第9-39図 ハブ，ハブ スリーブ，キー，キー スプリング点検 B8467

- 4 ハブ スリーブとシフト フォークとの接触面の損傷，摩耗
- 5 ハブ スリーブとシフト フォークとのすき間

限度	1.0 mm
----	--------



第9-40図 ハブ スリーブとシフト フォーク すき間点検 B8468

インプット シャフト

- 1 ギヤの歯面, スプライン, コーン部の損傷, 摩耗
- 2 シンクロナイザ リングとのブレーキ作用およびギヤ スプライン端面とのすき間

限度	0.8 mm
基準値	1.0~2.0 mm
- 3 ニードル ローラ ベアリングおよびシャフト内径面の損傷, 摩耗
- 4 インプット シャフト ベアリング交換
 - (1) スナツプ リングを取りはずす。
 - (2) プレスを使用してベアリングを取りはずす。
 - (3) SST [09506-30010] およびプレスを使用してベアリングを圧入する。
 - (4) スナツプ リングを選択し, シャフトに組み付ける。

注

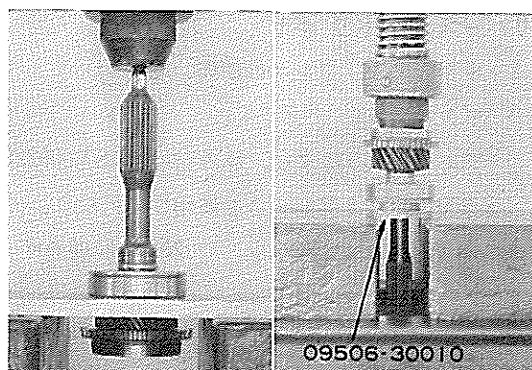
ベアリングは不良の場合以外は取りはずさないこと。

カウンタ ギヤおよびベアリング

- 1 ギヤの歯面, フロントおよびリヤ ベアリングの損傷, 摩耗
- 2 フロントおよびリヤ ベアリング交換
 - (1) スナツプ リングを取りはずす。
 - (2) SST [09602-35011] を使用してベアリングを取りはずす。
- (3) SST [09515-20010] およびプレスを使用してベアリングをカウンタ ギヤに圧入する。
- (4) スナツプ リングを組み付ける。

注

ベアリングは不良の場合以外は取りはずさないこと。

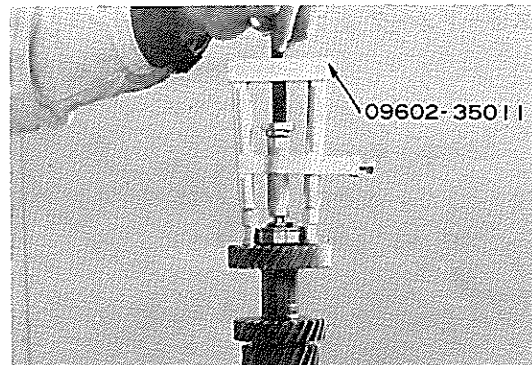


第9-41図 ベアリング交換

B8469 B8470

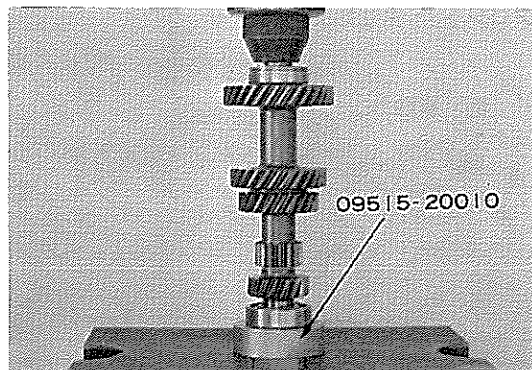
第9-2表 スナツプ リング厚さ

品番	厚さ (mm)	識別マーク
90520-30214	2.05 ~ 2.10	0
90520-30215	2.10 ~ 2.15	1
90520-30216	2.15 ~ 2.20	2
90520-30217	2.20 ~ 2.25	3
90520-30218	2.25 ~ 2.30	4
90520-30219	2.30 ~ 2.35	5



第9-42図 ベアリング取りはずし

B9922



第9-43図 ベアリング組み付け

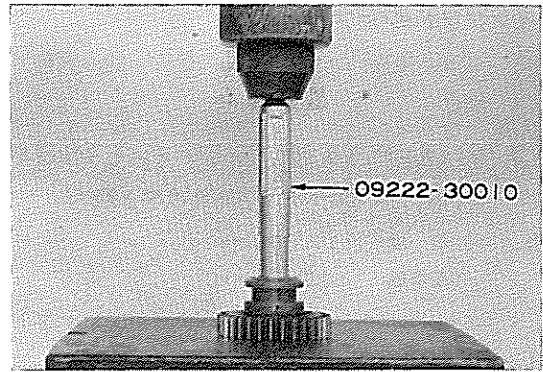
B8472

リバース アイドラ ギヤ

- 1 ギヤの歯面, ブシユの損傷, 摩耗
- 2 ブシユ交換
 ブシユの取りはずし, 組み付けはSST〔09222-30010〕およびプレスを使用して行なう。
 内径仕上げ寸法 20.04~20.06 mm

注

- 1 組み付けの際ブシユのオイル穴とギヤのオイル穴を合わせること。
- 2 ブシユとシャフトのはめ合いが堅い場合はピンホール グラインドまたはリーマ等で仕上げる。

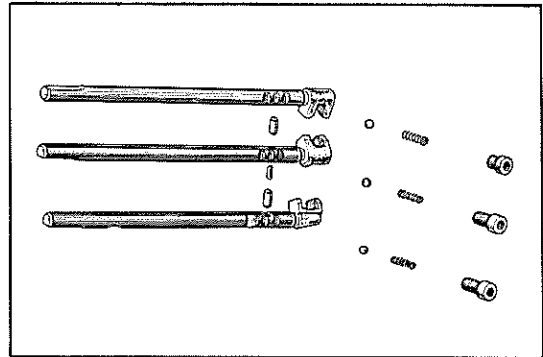


第9-44図 ブシユ交換

B8473

シフト フォーク シャフト関係

- 1 シャフトの各しゅう動部の損傷, 摩耗
- 2 スプリング, ボール, ピンの損傷, 摩耗



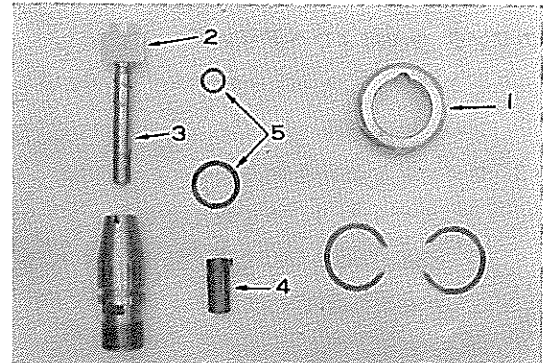
第9-45図 シフト フォーク シャフト点検

S0697

スピードメータ ドライブ ギヤ

およびドリブン ギヤ

- 1 ドライブ ギヤ(1)およびドリブン ギヤ(2)歯面の損傷, 摩耗
- 2 ドリブン ギヤのシャフト(3), ブシユ(4)およびO リング(5)の損傷, 摩耗

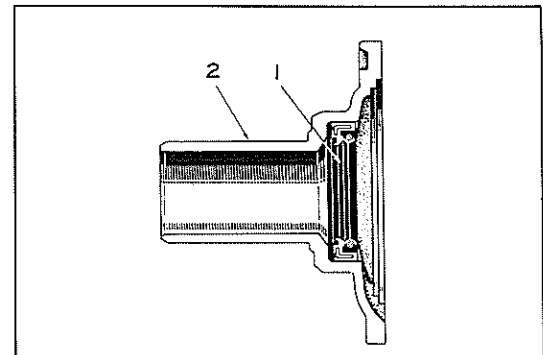


第9-46図 スピードメータ ギヤ点検

B8474

フロント ベアリング リテーナ

- 1 タイプ T オイル シールのリップ部(1)の損傷, 摩耗
- 2 クラッチ レリーズ ハブしゅう動部(2)の損傷, 摩耗

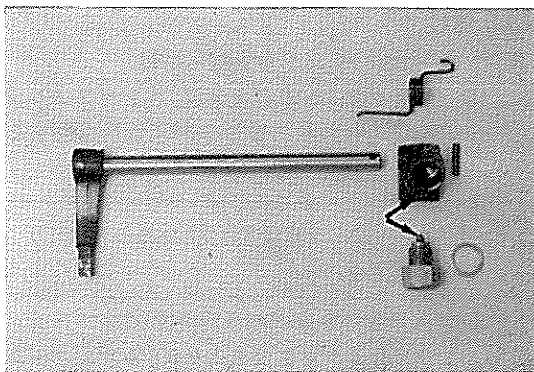


第9-47図 フロント ベアリング リテーナ点検

G6374

シフト レバー ハウジング, リバース レストリ クト ピンおよびシフト レバー シャフト

- 1 ハウジングとレストリクト ピンとの接触面
(右図矢印部)の損傷, 摩耗
- 2 シフト レバー シャフトの損傷, 摩耗

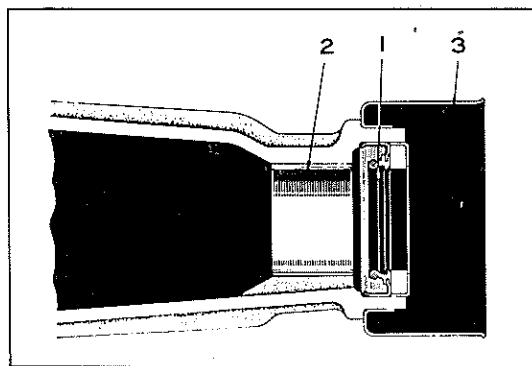


第9-48図 シフト レバー シャフト点検

B8476

エクステンション ハウジング

- 1 タイプ T オイル シールのリップ部(1)の損傷, 摩耗
- 2 ブシュ(2)の損傷, 摩耗
- 3 ダスト デフレクタ (3)の損傷, 取り付け状態



第9-49図 エクステンション ハウジング点検

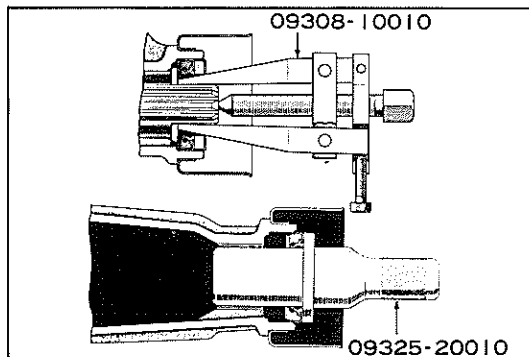
G6361

4 オイル シール交換

- (1) エクステンション ハウジングから, SS T〔09308-10010〕を使用してオイル シールを取りはずす。
- (2) SST〔09325-20010〕を使用してオイル シール, ダスト シールの順に組み付ける。

注

オイル シールのリップ部にはグリースを塗布し, ダスト シールにはギャ オイルを含ませておくこと。



第9-50図 オイル シール交換

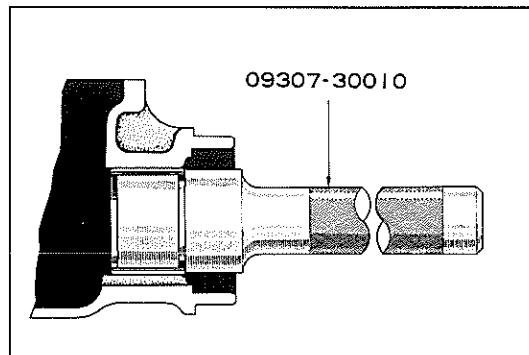
G7748 G6559

5 ブシュ交換

ブシュの取りはずし, 組み付けはエクステンション ハウジング後部をピストン ヒータ (オイル バス タイプ) で80~100°Cに加熱して, SST〔09307-30010〕およびプレスを使用して行なう。

注

組み付けの際ブシュのオイルみぞとエクステンション ハウジングのオイルみぞを合わせる。またオイル シールを新品と交換すること。



第9-51図 ブシュ交換

G7749

組み付け

1 アウトプット シャフト組み付け

- (1) クラッチ ハブ No. 2 に スリーブ No. 2 をはめ合わせ、なめらかにしゆう動することを確認する。

注

ハブとスリーブ No. 2 には方向性があるので右図のように組み付ける。

- (2) ハブとスリーブのキーみぞにシフテイング キー 3 個をそう入し、スプリング 2 個を組み付ける。
- (3) シンクロナイザ リング No. 2 をサードギヤにはめ合わせ、アウトプット シャフトに組み付ける。

注

シャフト外面にグリースを充分塗布すること。

- (4) ハブ アッセンブリ No. 2 をアウトプット シャフトの段付き部に当たるまでそう入する。

注

アウトプット シャフトとのはめ合いが堅いときは木ハンマ等を使用して軽くだいてそう入する。

- (5) ハブ No. 2 固定用スナップ リングを選択し、軸方向の遊びが 0~0.05mm になるようにシャフトに組み付ける。

第9-3表 スナップ リング厚さ

品番	厚さ (mm)	識別マーク
90520-30238	2.00~2.05	なし
90520-30214	2.05~2.10	0
90520-30215	2.10~2.15	1
90520-30216	2.15~2.20	2
90520-30217	2.20~2.25	3
90520-30218	2.25~2.30	4

- (6) サードギヤのスラストすき間を測定する。

限度 0.25 mm
基準値 0.10~0.25 mm

- (7) シンクロナイザ リング No. 2 をセカンドギヤにはめ合わせ、アウトプット シャフトに組み付ける。

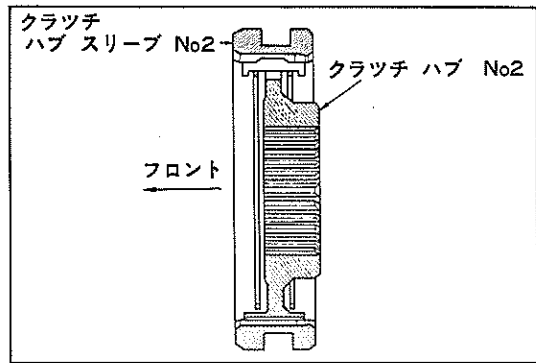
注

シャフト外面にグリースを充分塗布すること。

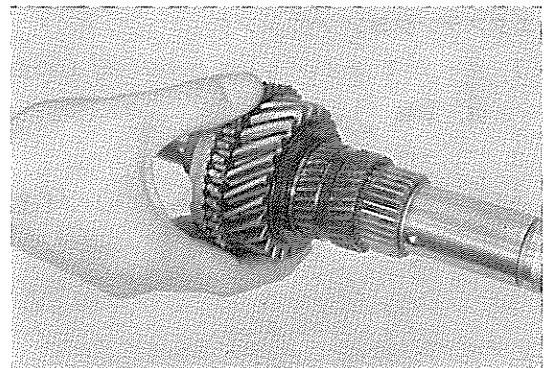
- (8) クラッチ ハブ No. 1 にリバースギヤをはめ合わせ、なめらかにしゆう動することを確認する。

注

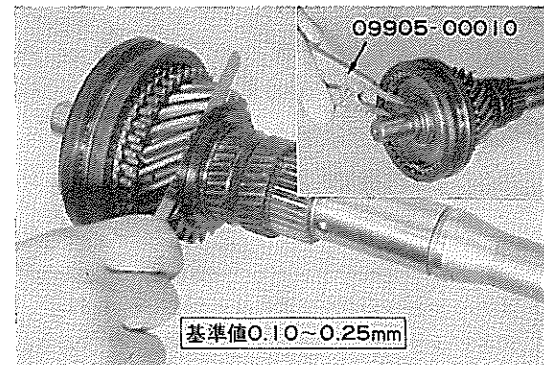
クラッチ ハブ No. 1 には方向性がない。



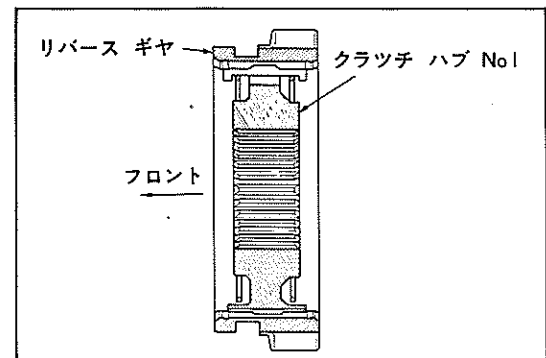
第9-52図 クラッチ ハブ No.2 組み付け G7750



第9-53図 サードギヤ組み付け B8477



第9-54図 サードギヤ スラストすき間 B8478 B8479



第9-55図 クラッチ ハブ No.1組み付け G7751

- (9) ハブとリバースギヤのキーみぞにシフティングキー3個をそう入し、スプリング2個を組み付ける。

注

このときハブの内側スプラインの逃げとロックボールとを合わせてかん合せする。

- (10) インナレース回転止めボールをアウトプットシャフトに入れる。

注

- 1 ボールがシャフトから突き出していること。
- 2 ボールをグリースで穴から落ちないようにする。

- (11) シンクロナイザハブアッセンブリ No. 1をアウトプットシャフトの段付き部に当たるまでそう入する。

- (12) セカンドギヤのスラストすき間を測定する。

限度 0.25 mm
基準値 0.10~0.25 mm

- (13) ファーストギヤ、シンクロナイザリング No. 2、ベアリングおよびベアリングインナレースを組みにして、インナレースの端面がクラッチハブ No. 1に当たるまでそう入する。

注

回転止め用ボールにインナレースのみぞを合わせること。

- (14) アウトプットリヤベアリングを SST [09506-30010] およびプレスを使用してシャフトに圧入する。

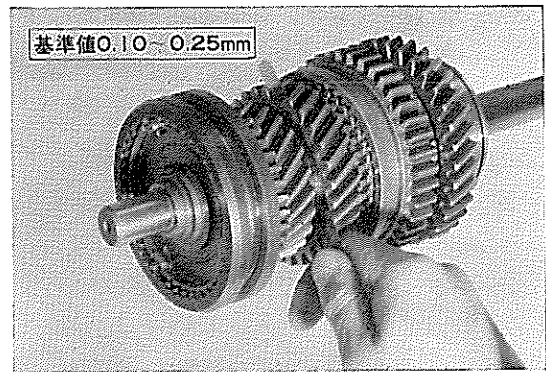
注

ベアリングの組み付け方向は、アウトレースのスナップリングのみぞをリヤ側にする。

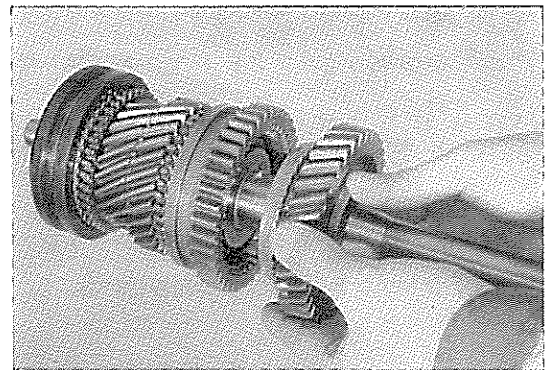
- (15) ファーストギヤのスラストすき間を測定する。

限度 0.25 mm
基準値 0.10~0.25 mm

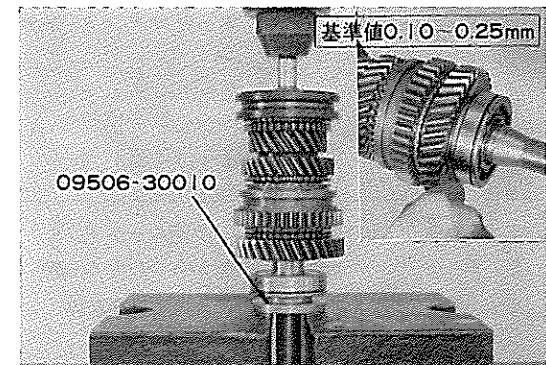
- (16) アウトプットリヤベアリング固定用スナップリングを選択し、軸方向の遊びが0~0.05 mmになるようにシャフトに組み付ける。



第9-56図 セカンドギヤスラストすき間 B8480



第9-57図 ファーストギヤ組み付け B8481



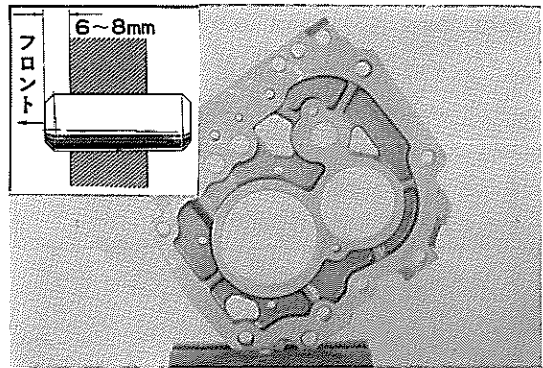
第9-58図 アウトプットリヤベアリング組み付け B8482 B8483

第9-4表 スナップリング厚さ

品番	厚さ (mm)	識別マーク
90520-30238	2.00 ~ 2.05	なし
90520-30214	2.05 ~ 2.10	0
90520-30215	2.10 ~ 2.15	1
90520-30216	2.15 ~ 2.20	2
90520-30217	2.20 ~ 2.25	3
90520-30218	2.25 ~ 2.30	4
90520-30219	2.30 ~ 2.35	5
90520-30239	2.35 ~ 2.40	6

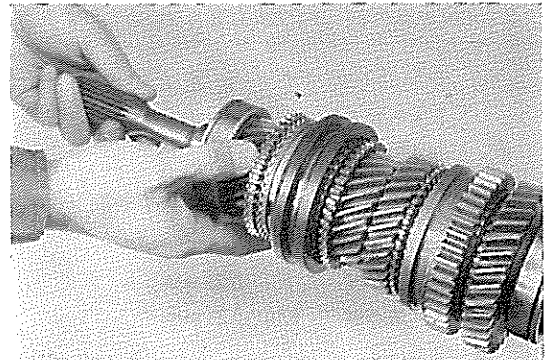
2 トランスミッション インタミードイト プレート アッセンブリ組み付け

- (1) ストレート ピンをプレスまたは銅ハンマ等を使用してインタミードイト プレートのフロント面から6~8mm頭が出るまで圧入する。
- (2) インタミードイト プレートをバイスに固定する。



第9-59図 インタミードイト プレート固定 B8484 G7752

- (3) ニードル ローラ ベアリングにグリースを塗り、インプット シャフトに組み付ける。
- (4) シンクロナイザ リング No. 2にギヤ オイルを塗布して、ギヤに組み付ける。
- (5) インプット シャフト アッセンブリをアウトプット シャフトに組み付ける。

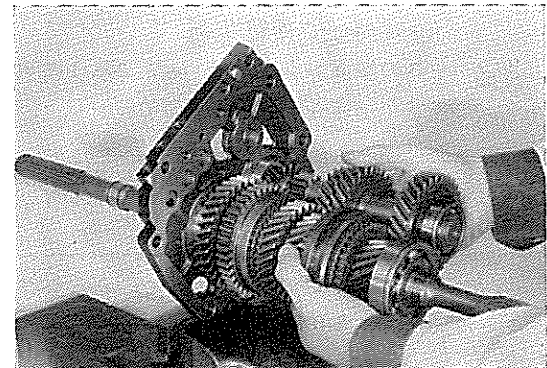


第9-60図 インプット シャフト組み付け B8485

- (6) アウトプット シャフトとカウンタ ギヤを組みにしてインタミードイト プレートに組み付ける。
- (7) スナップ リングを組み付ける。

注

ベアリング外周のスナップ リング用みぞがインタミードイト プレートのリヤ端面から少し出る位置まで圧入しておき、スナップ リングをはめた後インタミードイト プレートの端面に押し付ける。



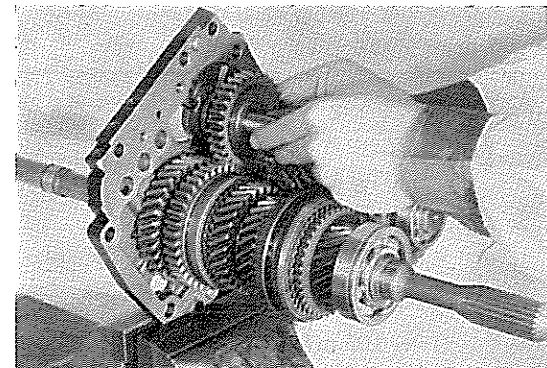
第9-61図 アウトプット シャフト カウンタ ギヤ組み付け B8459

- (8) アイドラ ギヤ シャフトにアイドラ ギヤをそう入し、インタミードイト プレートに組み付ける。

注

アイドラ ギヤ 内面にグリースを塗布すること。

- (9) シャフトにスペーサを入れスナップ リングで固定する。
- (10) シャフトをシャフト ストップで固定する。



第9-62図 アイドラ ギヤ組み付け B8486

- (11) シフト フォーク No. 1, No. 2 をハブスリーブのフォークみぞに組み付ける。

注

シフト フォーク No. 1, No. 2 の向きは長い方のボス部が互に向かい合う位置である。

- (12) シフト フォーク シャフト No. 1, No. 2, リバース シフト フォーク シャフト およびインタロック ピン No. 1, No. 2 を組み付ける。

注

インタロック ピンはグリースを塗布して組み付けること。

- (13) スロットッド スプリング ピンを打ち込み、シフト フォークとフォーク シャフトを固定する。
- (14) ロック ボールおよびロック ボール スプリングを入れ、SST [09313-30020] を使用してプラグを締め付ける。

締め付けトルク 190~310 kg-cm

注

プラグはシール パッキン No. 5 を塗布して組み付けること。

- (15) アウトプット リヤ ベアリング リテーナをインタミードイト プレートに組み付ける。

注

アウトプット リヤ ベアリングのスナップ リングとインタミードイト プレート端面との間にすき間ができないように押し付けること。

締め付けトルク 150~220 kg-cm

- (16) スピードメータ ドライブ ギヤを組み付ける。

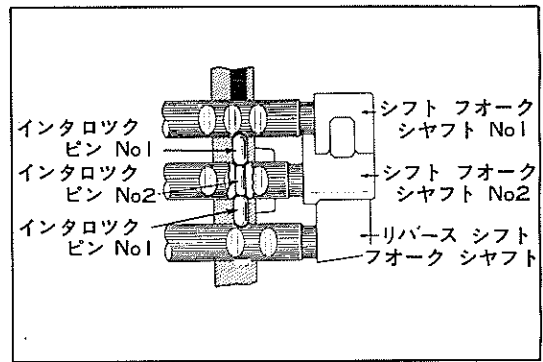
3 リバース シフト アーム組み付け

- (1) リバース シフト アーム ブラケットにピボットでシフト アームを仮締めし、インタミードイト プレートに組み付ける。
- (2) スロットッド ピンを打ち込み、規定のトルクでボルトを締め付ける。

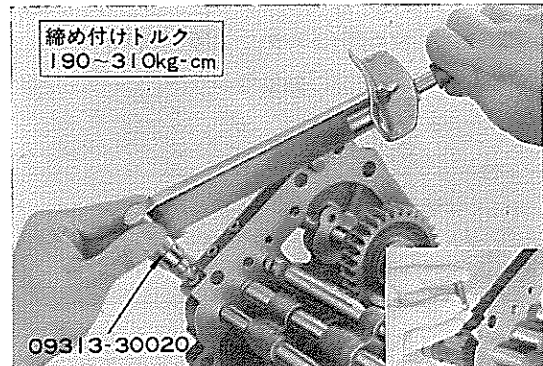
締め付けトルク 150~220 kg-cm

注

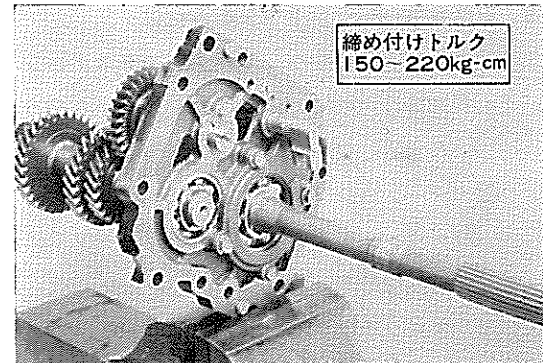
ピンはあらかじめ右図の位置まで打ち込んでおくこと。



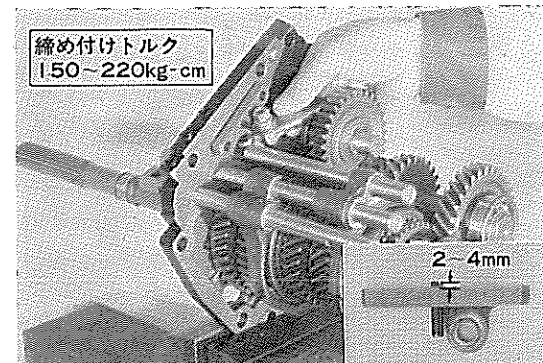
第9-63図 シフト フォーク シャフト組み付け G7896



第9-64図 ロック ボール組み付け B8488 B8732



第9-65図 ベアリング リテーナ組み付け B8489



第9-66図 リバース シフト アーム組み付け B8490 B8491

4 リバース アイドラ ギヤ調整

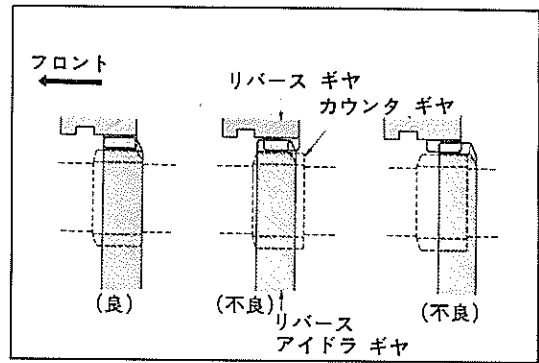
- (1) リバース シフト アームが仮締めめの状態でリバースにシフトする。
- (2) リバース ギヤとアイドル ギヤとのかん合状態をみる。かん合状態が適切ならばアイドル ギヤのフロント面がリバース ギヤのフロント面と一致するか、若干後方にある状態になる。
- (3) シフト アーム ピボットをナットで規定トルクに締め付ける。

締め付けトルク 100~160 kg-cm

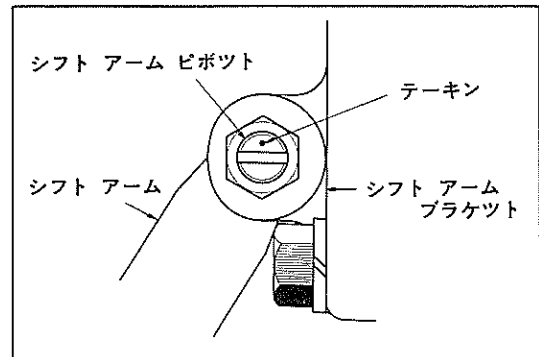
- (4) かん合状態の調整はシフト アーム ピボットで行なう。

注

かん合状態が適切な位置にある場合シフト アーム ピボットのスリットがインタミードイト プレートに対して直角になる。



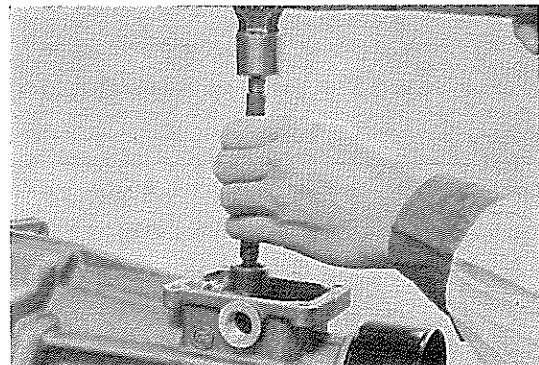
第9-67図 リバース アイドラ ギヤ調整 G7753



第9-68図 リバース アイドラ ギヤ調整 G7754

5 シフト レバー シャフト組み付け

- (1) シフト レバー シャフトをエクステンションハウジングのフロント側からそう入する。
- (2) トーション スプリングとシフト レバーハウジングをシフト レバー シャフトに組み付ける。
- (3) スロットテッド スプリング ピンを打ち込む。



第9-69図 シフト レバー シャフト組み付け B8451

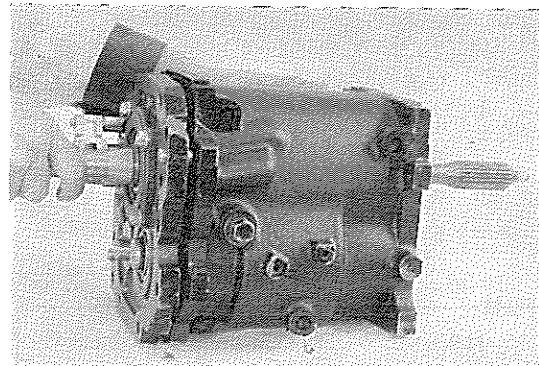
6 トランスミッション ケース組み付け

- (1) ガスケットを介してトランスミッションケースをインタミードイト プレート アッセンブリに組み付ける。

注

ガスケットとプレートおよびケースとの合わせ面は油をきれいにふき取っておくこと。

- (2) インพุット ベアリングおよびカウンタ フロント ベアリング用スナップ リングを組み付ける。



第9-70図 トランスミッション ケース組み付け B8493

7. エクステンションハウジング組み付け

- (1) ガasketを介してエクステンションハウジングをインタミードイトプレートに組み付ける。

注

- 1 ガasketとプレートおよびハウジングとの合わせ面は油をきれいにふき取っておくこと。
- 2 エクステンションハウジングはシフトレバーハウジングを右図の位置にして、インタミードイトプレートに組み付ける。
- 3 ブシュ内径面に充分グリースを塗布すること。

- (2) トランスミッションケース、インタミードイトプレートおよびエクステンションハウジングを規定トルクで締め付ける。

締め付けトルク 300~450 kg-cm

- (3) ガasketを介してリバースレストリクトピンを組み付ける。

締め付けトルク 300~450 kg-cm

8. カウンタギヤのスペーサ選択

- (1) カウンタギヤを強くリヤ側に押して右図に示したすき間をダイヤルゲージで測定してスペーサを選択する。

第9-5表 スペーサ選択

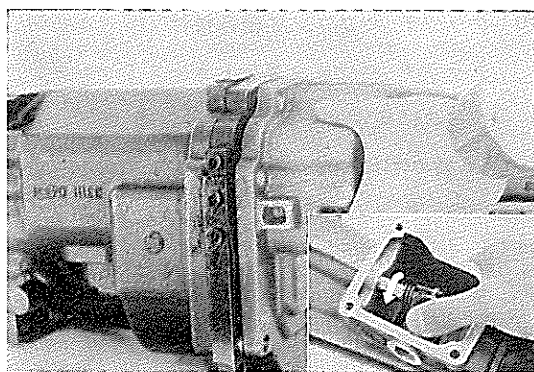
品番	ε; すき間 (mm)	識別腐食マーク(個)
90560-38331	2.87~2.99	1
90560-38332	3.00~3.09	2
90560-38333	3.10~3.19	3
90560-38334	3.20~3.32	4

- (2) カウンタシャフトカバーおよびスペーサをトランスミッションケースのカウンタフロントの穴に組み付ける。

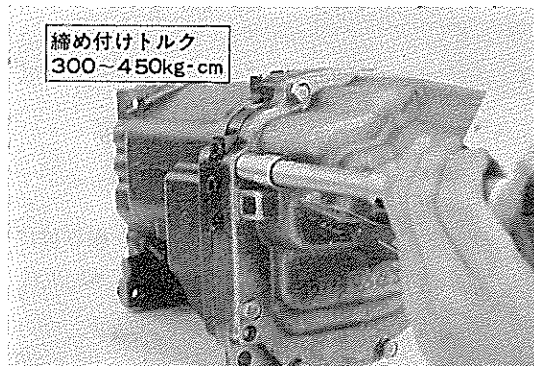
9. フロントベアリングリテーナ組み付け

- ガasketを介してオイルリターンホールとみぞを合わせ、フロントベアリングリテーナを規定トルクで締め付ける。

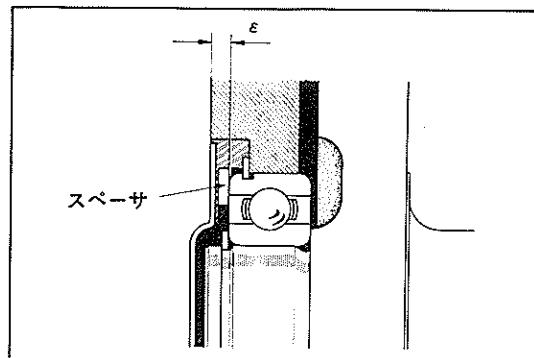
締め付けトルク 60~90 kg-cm



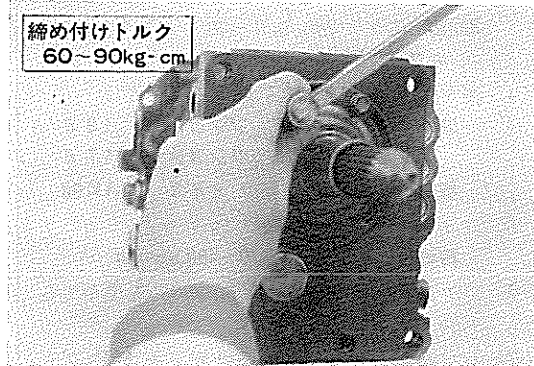
第9-71図 エクステンションハウジング B8509 B8452 組み付け



第9-72図 エクステンションハウジング組み付け B8494



第9-73図 カウンタフロントのすき間調整 G7755



第9-74図 フロントベアリングリテーナ B8724 組み付け

10 クラッチハウジング組み付け

クラッチハウジングをトランスミッションケースに規定トルクで締め付ける。

締め付けトルク 500~700 kg-cm

11 シフトレバーリテーナ組み付け

ガスケットを介してシフトレバーリテーナをエクステンションハウジングに規定トルクで締め付ける。

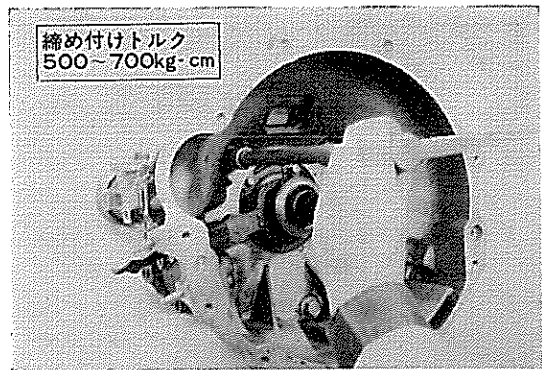
締め付けトルク 150~220 kg-cm

12 スピードメータドリブンギヤを組み付けて
ロックプレートで固定する。

締め付けトルク 100~160 kg-cm

13 バックアップランプスイッチを組み付ける。

締め付けトルク 370~450 kg-cm



第9-75図 クラッチハウジング組み付け B8495

14 ドレーンプラグを組み付ける。

締め付けトルク 370~450 kg-cm

注

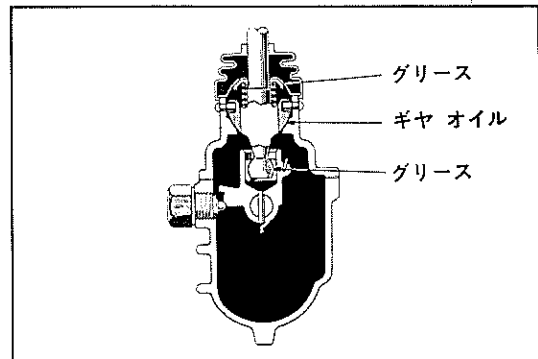
- 1 インプットシャフト先端(エンジンパイロ
ットベアリングとのかん合部)での遊びが**0.5
mm**以上あることを確認する。(測定荷重2kg)
- 2 ニュートラル時、インプットシャフトが手で
軽く回り、引っかかりのないことを確認する。

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

注

- 1 インプットシャフト先端部およびスプライン部、レリーズベアリングとダイヤフラムスプ
リング接触面には、キヤツスルクラッチグ
リースを薄く塗布する。
- 2 トランスミッションをエンジンに取り付ける。
締め付けトルク R X系車 500~800 kg-cm
M X系車 300~450 kg-cm
- 3 クラッチレリーズフォーク先端の遊びを2.0~
3.0 mmにクラッチレリーズシリンダプッ
シュロッドで調整する。
- 4 ギヤオイルを注入する。
油量 3段トランスミッション 1.8 ℓ
4段トランスミッション 1.7 ℓ
種類 キヤツスルギヤオイル SAE 90
- 5 フィラプラグを組み付ける。
締め付けトルク 370~450 kg-cm
- 6 シフトレバー大球部にギヤオイルを塗布する
(グリースは不可)。
- 7 シフトレバーブッシュにキヤツスルMPグ
リースを塗布する。



第9-76図 グリースおよびオイル塗布箇所 S0642